

# まちの話題



10/9

## 寺川綾さんから 世界の泳ぎ学ぶ

ロンドン五輪メダリストの寺川綾さんのスイムクリニックがアクリナちゃっぽで開催され、小中学生対象の午前の部と高校生以上対象の午後の部合わせて86人が参加しました。午前の部では、模範遊泳の披露のほか、ターン時の壁の蹴り出しや手足の正しい使い方などを学びました。寺川さんは「大変なことも目標を達成した時に全て良かったこと変わる。そう考えて困難なことも乗り越えてほしい」と話しました。



11/6

## 身近に福祉を感じて 福祉フェスタ開催

音更町社会福祉協議会主催のおとふけ福祉フェスタ2022が総合福祉センターで開催され、約300人が来場しました。会場では、町内福祉施設・団体による販売や最新介護用品の展示・体験、各種相談コーナーなどが設置されたほか、地元野菜のチャリティ販売や、介護を題材にした映画上映など、多くの来場者でにぎわいました。同協議会の河田さえ子会長は「イベントを通じて福祉を身近に感じてほしい」と話しました。



10/15

男性の家事が社会を救う  
東大の瀬地山教授が講演



男女共同参画講演会が共栄コミセンで開催され、60人が参加しました。講師は東京大学大学院教授の瀬地山角さん。講演では、日本の男性の家事育児時間が極端に少ないことを紹介し、「少子化は女性だけの問題ではなく、男性のワークライフバランスを社会的に是正し、次の世代をきちんと育てられる社会にしていかなければならない」と話しました。

10/20

色とりどりの風船に  
わくわく



音更町子育て支援センター合同わくわくフェスティバルがサンドームおとふけで2年ぶりに開催され、22組の親子が参加しました。今年度はバルーンアーティストのミリーさんによるステージ「バルーンアートDreamy」が行われ、バルーンアート鑑賞のほかにも、ミリーさんが作った風船の輪っかぐりや風船の刀でチャンバラなどを楽しみました。

10/23

柳町開基50周年  
記念式典が開催



4町内会で構成されている柳町地区の柳町開基50周年記念式典が、共栄コミセンで開催され、約40人が参加しました。記念事業協賛会会長の五十嵐利三さんが「今後一層住みよい柳町団地になるように努力をしていきたい」とあいさつしたほか、町内会の会長・前会長7人への感謝状贈呈が行われ、柳町北区町内会前会長の山崎茂さんが謝辞を述べました。

10/26

緑陽台小6年生が  
まちづくりインタビュー



緑陽台小学校の6年生15人が、授業の一環でより良いまちづくりの提案に向けた情報収集のために役場を訪れました。児童たちは、自然環境・観光・農業・福祉防災の4分野に分かれ、小野町長、福地教育長ほか担当職員にインタビューを行い、まちづくりへの理解を深めました。来年1月には、町への提案をまとめ、発表する予定となっています。